

● 改訂長谷川式知能評価スケール(HDS-R)

	質問内容	配点	
1	お年はいくつですか?(2年までの誤差は正解)	0 1	
2	今日は何年の何日ですか?何曜日ですか? (年、月、日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年	0 1
		月	0 1
		日	0 1
		曜日	0 1
3	私たちがいまいる所はどこですか? (自発的にできれば2点、5秒おいて家ですか?病院ですか?施設ですか?のなかから正しい選択をすれば1点)	0 1 2	
4	これから言う3つの言葉を書いて下さい。あとでまた聞きますのでよく覚えておいて下さい。(以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1:a)桜 b)猫 c)電車 2:a)梅 b)犬 c)自動車	0 1	
		0 1	
		0 1	
		0 1	
5	100から7を順番に引いて下さい。 (100-7は?、それからまた7をひくと?と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る。それぞれ1点。)	0 1 0 1	
6	私がこれから言う数字を逆から読んで下さい。 (6-8-2,3-5-2-9を逆に言ってもらおう。3桁逆唱に失敗したら、打ち切る)	0 1 0 1	
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度書いて下さい。 (自発的に回答があれば各2点、もし回答が無い場合以下のヒントを与え正解であれば1点) a)植物 b)動物 c)乗り物	a: 0 1 2	
		b: 0 1 2	
		c: 0 1 2	
		0 1 2	
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにがあったか言って下さい。 (時計、鍵、タバコ、硬貨など必ず相互に無関係なもの)	0 1 2	
		3 4 5	
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く言って下さい。 (答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まったり、約10秒間待っても答えない場合はそこで打ち切る) 0~5=0点、6=1点、7=2点、8=3点、9=4点、10=5点	0 1 2	
		3 4 5	
20点以下=認知症疑い		合計得点(30点満点)	

ご自身の認知機能が衰えていないかを試してみましょう。
※ご自宅でお使いになる場合は参考程度にお考えください。

改訂長谷川式知能評価スケール(HDS-R)は、医療・福祉などの現場で、認知症の有無や程度を評価する診断テストとして広く用いられています。HDS-Rは、被験者に対して口頭で簡単な質問を行い、短期記憶や場所や時間の感覚といった見当識などについて点数化し、認知症の程度や進歩を評価するものです。HDS-Rの特長としては、評価者の経験・知識によって結果が大きく左右されないこと、一般的な心理検査等に比べ短時間で評価できる(20分程度)といった点が挙げられます。30点満点で20点以下ですと、痴呆症の疑いがあると判定されます。HDS-Rは口頭での質問を行うため、意志疎通が困難な方の評価を行う場合は、N式老年者用精神状態尺度(NMスケール)が有効となります。

よくある質問 ワンポイントアドバイス

- 設問 1 「年齢」について**
年齢を聞く設問では、2年までの誤差は正解とします。被験者が数え年で答える場合や、誕生日の時期などで誤差が出ることを想定しているためです。ただし、正確に生年月日を答えたとしても、年齢が分かっている場合は0点となります。
- 設問 2 「今日の年月日と曜日」について**
年・月・日・曜日の質問は、尋ねる順番を問いません。曜日から逆に尋ねても良いですし、順不同で尋ねても構いません。
- 設問 3 「今いる場所」について**
現在地の住所や、病院・施設名などの具体的な名称までは必要ありません。「自宅」「病院」など、被験者が「今、どこにいるのか?」が分かれば正解とします。
- 設問 4 「3つの言葉(記録)」について**
必ず設問4に記載されている言葉で、他の言葉に置き換えてはいけません。
- 設問 5 「引き算」について**
最初に「100引く7は?」と聞きますが、「93」という正解が得られなければ、その時点で打ち切ります。正解した場合、以降の質問は「そこから7を引くといくつ?」と質問してください。「7を引いた数字」を被験者が覚えていなくても課題になるため、「93引く7は?」「86引く7は?」などと質問しないでください。
- 設問 6 「数字の逆唱」について**
スピードを求めるものではないため、ゆっくりと、およそ1秒間隔を目安に数字を提示しましょう。
- 設問 7 「3つの言葉(想起)」について**
設問4で覚えてもらった言葉を書いてもらいますが、全てを思い出せなかったときは、「動物もありましたね?」などのヒントを与えます。「動物と乗り物も…」というふうに、複数のヒントを一度に与えないでください。
- 設問 8 「5つの品物」について**
5つの品物は何でも構いませんが、被験者の身近なものにしてください。また、一つひとつに関連性のないものにしてください。
- 設問 9 「野菜の名前」について**
この設問は、記憶力や知識を評価するものではなく、言葉が流暢であるかどうかを評価する設問です。同じ物が重複した場合もそのまま続けさせ、後で減点してください。